

令和3年度 第3回 住吉区地域福祉専門会議 会議要旨

- 1 日 時 令和4年2月24日（木） 午後6時から午後7時45分
- 2 場 所 住吉区役所 4階 第4・5会議室及びオンライン併用
- 3 出席者
(委 員)
大河内委員、大谷内委員、北原委員、西田委員、沼田委員、八牟禮委員、藤居委員、藤本委員、三橋委員、宮川委員、山下委員、吉田委員、小野アドバイザー
(区役所他)
区長、副区長、関係課長、課長代理 住吉区社会福祉協議会事務局長、事務局長代理、地域支援担当主査
- 4 議 題
報 告
(1) 住吉区地域見守り支援システム進捗状況について
(2) 住吉区地域福祉ビジョン（改訂版）令和3年度事業の進捗状況について
議 事
○ 住吉区における地域福祉の取組みについて
- 5 議事要旨等
○ 「住吉区における地域福祉の取組みについて」次年度以降、専門会議として取り組んでいきたいことについて意見をいただいた。
主な委員意見
○ コロナ禍でここ2年間婚姻数が減っている。それによって生まれてくる子どもの数も減っているという報告がある。住吉区で婚活を取組めたら。
○ 話し合うことでお互いに分かり合える。話し合うことが重要なのはわかっているが、働いている人もおりなかなか時間が取れないことをどうするか。
○ マイナスをゼロにするだけでなく幸福をめざすという増進型地域福祉の考え方で取り組むことが大事。
○ 問題を抱えている子どもたちは幸福感がなく、不安を感じている。増進型地域福祉の考え方を取り入れた活動を考えていきたい。
○ この2年間、子どもの虐待やネグレクトが増えている。コロナで活動が制約されたことによって、子どもたちはこれまでいかに地域で支えられていたかを感じている。どう戻していけるのか考えたい。

- 自助・共助・公助のバランスについて、今の世の中自助が求められている。まずは公助があるべきではと思っている。そういった議論ができれば。
- 高校生の中退が増えている。幸福感がない、未来が描けない。子どもたちに未来を語ってもらえる場を実現できたら。
- コロナ禍において、認知症の人が増え家庭内でも困っている。何かできないか。
- 専門職は問題解決型の考え方になってしまいがち。考え方の転換が必要だと感じた。
- 専門職と地域がどうつながっていくか、関わっていくか。ビジョンにもそこが重要と書かれている。専門職が地域にどう出ていくのか、縦割りから一歩踏み出す議論をしていきたい。
- 自助には企業も含まれる。地域のあらゆる関係者が一緒に取り組むことができたらと思う。

6 令和4年度の開催日程について（予定）

- 第1回 令和4年6月30日（木） 午後6時から
- 第2回 令和4年9月22日（木） 午後6時から
- 第3回 令和5年2月16日（木） 午後6時から